

# 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

## 1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

### ①【障がい福祉サービス事業】

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。

#### [菓子製造]

フードプリンターを導入して4年目となる。開所当初からのオリジナル型抜きクッキー、プリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新たな注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで、客層にも広がりがみられている。

利用者の増加に伴い必要となってくる作業量・作業収入の確保に向けて、地域と連携した付加価値の高い商品づくり、新たな視点での商品開発に取り組み、平成27年3月にしまねSuper大使吉田くんの作者であるFROGMAN（小野亮氏）に協力していただき、「吉田くんのぽんぽんクッキー」を発売した。若者にも支持されているキャラクターを使用することで、新たな顧客を獲得することができた。

10月からは、イオン出雲天神店の産直市場だんだん市においてクッキーの販売を開始し、安定した売上を維持している。新商品開発、販路拡大により、安定した作業収益の確保と工賃向上につながっている。

#### [農作業（農福連携事業）]

平成25年度、26年度に引き続き、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいて、ぶどうを中心とした農作業に取り組んできた。作業環境の整備・改善、指示の出し方、道具の工夫・改善等について、利用者の声や作業状況、障がい特性、農業・福祉の両職員の見解等をもとに、検証しながら作業を進めていき、平成27年度は、実証研究の一環として農家と契約をし、地域のぶどうハウスにおいて作業を実施した。初めての取り組みとなった袋かけ作業については、実際の作業に向けて、事業所内で時間をかけて事前訓練を実施し、農家が指定した期間内に、正確・確実な作業を行うことができ、一定の成果をあげることができた。

実証研究3年目ということで、作業に慣れた方の他、初体験の方の指導にも力を注ぎ、農作業の中で利用者の新たな力を引き出すことができた。地域の中でいきいきと働き評価を得ることで、達成感や働く喜びを感じるとともに自信をつけ、仕事を通して成長することができた。

3年間の実証研究は終了するが、島根県農業技術センターや地域の農家との農福連携は継続していく方向であり、利用者の働く場、力を発揮する場につなげていくことができた。

### [清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、地域の事業所の協力により、開始して4年目になる社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんぼの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となってきている。施設外就労を通して地域の方と関わり、適度な緊張感を持ちながら、働く力を身につけていく場にもなっている。

### [請負作業]

茶三代一・かみありづき・農家・出雲市等、複数の請負作業を行ってきたが、确实・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保できるようになってきた。また、作業内容によっては単価交渉を行い、作業に見合った作業料に近づくよう、企業・行政等への働きかけを行ってきた。

### [アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業・ローソン出雲多伎店等、地域の企業のみなさまにもご協力いただき、昨年度とほぼ同量をリサイクルすることができた。缶の引取り価格の下落により、収益は減少しているものの、安定した作業収益を確保することができた。

## ②【相談支援事業】

福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズと社会資源等の連絡・調整等を行うため、相談支援事業に取り組んできた。昨年に引き続き児童4名の相談支援を担当し、安定した地域生活が継続できるよう支援してきた。

## ③【地域生活支援事業】

日中一時支援事業を実施。1名の受け入れではあるが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、地域のニーズに応えることができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	6名	25名	38,120
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	4名	721
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	5名	1名	14